

平成30年1月23日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(91回)報告

30.1.22 老人保健施設「FOMA なごみ」 深谷市新戒

今日の天気予報では関東地方に大雪が降ると大きくテレビ報道されていました。その通り、お昼前からチラチラ雪が舞っていました。こんな模様で公演が出来るかどうか疑問でしたが、9時前に「今日は来てくれますか」という施設の秋山さんから電話が入りました。

1時過ぎに施設に着いた時には、更に雪の降り方が多くなっていました。

さて今日の衣装は正装で、少し時間の余裕をもって施設に入りました。この施設は大きなホールをもっていて既に40人程の利用者の方々が出てきてくれました。

2時には支度が整い、大きな歓迎の拍手の中で会場に入りました。施設側から紹介をされ、その後マイクをいただいて公演を進めていきました。

最初に4人がそれぞれ自己紹介をし、舛田さんの「南京玉すだれ」の口上で演技が始まりました。曲にあわせて「玉すだれ」の形が変化する度に、大きな拍手と「すごい」という声が会場から聞かれました。「玉すだれ」のトークの中で、「すだれ」の動きや長く延びる変化に驚いていました。「きよしのズンドコ節」は調子の良い曲なので、曲に合わせ多くの手拍子を戴きました。「サザエさん体操」は積極的に職員の方が参加され、会場にいる全員で体が熱くなる程に手足を動かしました。「東京五輪音頭」を演じ、最後に新作の「東京音頭」を演じました。3回目とあって次第に慣れてきて、結構満足な出来になってきました。

室内では笑い声とニコニコ顔で一杯の和やかな雰囲気になっていますが、窓越しに見える屋外は、更に雪の降り方が激しさを増していました。今日の演技全部が終わり、皆さんと再会の挨拶をして急ぎ帰宅しました。





